

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 札幌蒼生会	代表者	理事長 佐藤 久佳	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日レクリエーションが充実している。毎月の行事、おやつレク、誕生会、外食レク等柔軟なサービス提供が出来る。通いの時間をその方に合わせて提供。病院受診などの対応も行っている。(朝 7:30 からの通いや夜 19 時までホームでの滞在など) ・外出行事(食事・散歩・イベント等)に参加する機会を作り、社会参加へ繋げるきっかけづくりをしている。 ・毎日、ADL を向上の為の運動を取り入れて、介護予防に努めている。 ・介助浴が出来る浴槽のほかに、機械浴にて座位の不安定な利用者にも入浴を楽しんで頂ける仕組みがある。 ・季節を感じられるように貼り絵や写真を掲示している。
事業所名	小規模多機能ホーム 栄町	管理者	宮西 由香里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も同様の評価を頂ける様に、自己評価を実施する。	自己評価を適切に実施出来ている。改善計画は具体的なものになっており、今後は結果を出してほしい。	自己評価が良く出来ている。	今後も同様の評価を受けれるように改善計画を実行し、自己評価に繋げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も同様の評価を頂ける様に、環境整備を実施する。	事業所のしつらえや環境に問題は見られない。今後も継続して行ってほしい。	事業所のしつらえや環境に問題は無いので、今後も継続してほしい。	今後も同様の評価を受けれるよう環境整備をして行く。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事などに参加する。	地域とのかかわりを持っている。	今後も継続して地域行事にかかわってほしい。	相談しやすい事業所となるように、広報などを通し認知していただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域にて小規模のサービスを利用していない方と関わりを持つ機会を作る。	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわることが出来ていない。	利用者以外の支援が見えてこない。	利用者以外のご近所で心配な方に、事業所が関われる機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域で抱えている問題について、関わりを持てるように、運営推進会議を通して、情報交換する。	事業所の取り組みは理解しやすい内容になっているが、地域で心配な方の事例検討が行われていない。	継続して情報交換をお願いしたい。	継続して地域で抱えている問題を、関わりを持てるように、運営推進会議を通して、情報交換をして行く。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災計画を知ってもらう機会を作る。防災訓練に参加してもらう機会を作る、又、地域の防災訓練に参加する。	防災計画を知り、訓練にも参加している。地域の防災訓練には参加していない。	今後も防災計画を知ってもらうために、機会を作り安心できる、事業運営を行ってほしい。	継続して事業所の防災計画を知ってもらう機会を作る。防災訓練に参加してもらう、又、地域の防災訓練に参加する。